

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年12月18日更新

事務事業名		地球温暖化防止啓発事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	総務部	課長名	財津 公正	
	施策	7	地球温暖化防止対策の推進			所属課	環境衛生課	担当者名	小畑 英之	
	基本事業	18	地球温暖化防止への意識の高揚			所属班	環境衛生班	(内線)	1142	
予算科目	会計一般	款4	項1	目7	事業連番10180	法令根拠	地球温暖化対策基本法		成果優先度評価結果	③
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			
予算科目		一般	4	1	7	10180	地球温暖化対策基本法		コスト削減優先度評価結果	①

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	環境問題が叫ばれているなかで、市民に地球温暖化を理解していただくため、地球温暖化防止についての啓発、周知を図る。温暖化に伴い、更に地球環境は悪化すると予測され、京都議定書では、90年比25%削減が目標とされたことにより、エコ製品の開発やCO2削減の取り組みが更に進むと予想される。本市においてもこの問題に対する関心を深め一人ひとりの意識改革を図るための啓発を行う。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	県から委嘱されている地球温暖化防止推進員2名と協働で、地球温暖化防止に取り組む活動(環境フェスタ・等)で必要な環境学習教材を購入する。
【主な予算費目】	職員手当、需用費
【意見や要望】	地球温暖化防止推進員の活動として、環境フェスタへの積極的な参加と環境学習会を開催されており、市も活動費用に関する予算を計上して欲しいとの要望があがっている。平成25年度より「環境フェスタ」を「エコまつり」に名称を変更した。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

① 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	広報・ホームページ掲載。合志市エコまつりの開催、温暖化防止推進員による小学校での啓発活動を行った。	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア 広報掲載回数	回	
→ イ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア 人口
		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	環境問題に対し興味を持ってもらい、市民の意識向上を図る。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→ ア 環境学習会参加者数
		→ イ
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
市民に地球温暖化を理解していただくため環境学習会を開催することにより、成果指標を「環境学習会参加者数」とした。目標値については、「2,000人」と設定した。		0

各指標・総事業費の推移		単位	23年度実績(決算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	27年度予定	28年度見込	29年度見込
① 活動指標	ア	回	0	1	3	3	3	3	3	3
	イ									
② 対象指標	ア	人	56,638	57,367	57,377	58,237	58,900	59,500	60,100	60,700
	イ									
③ 成果指標	ア	人	2,500	1,000	1,700	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円					1		
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	456	39	49	47	48	68	68	68
	(A) 事業費計	千円	456	39	49	47	49	68	68	68
人件費	(A)のうち指定経費	千円	87	0	9	7	9	28	28	28
	(A)のうち時間外、特勤	千円	35	0	9	7	9	28	28	28
	正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5	5	5	5
延べ業務時間	時間	313	250	330	250	330	330	330	330	
(B) 人件費計	千円	1,263	1,017	1,343	996	1,343	1,343	1,343	1,343	
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,719	1,056	1,392	1,043	1,392	1,411	1,411	1,411	

事務事業名	地球温暖化防止啓発事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 菊池川の日と同時開催であったため、見込みより参加者数が多かった。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 近年の実績を考慮し設定しており、また地球温暖化防止についての啓発、周知を図ることで、目標達成の見込みはある。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 市民全体へ啓発するためには、他にもいろいろ方法があると思われる。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 この事業を行うために必要な最低限の事業費であり削減の余地がない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業に必要な最低限の人件費であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民全体への啓発事業であり、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 住民や地域・団体への移行は可能であるが、地球温暖化防止についての啓発、周知は行政の責務である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成25年度は、菊池川の日とエコまつりを同時開催した。平成26年度も地球温暖化防止活動推進員と連携を図りながら、エコまつりの実施と環境学習活動への協力をしていく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					